Sustainable Report No.132

バイオマス燃料の供給の裏側



Satisfactory

■森林破壊

- 2000年以降、毎年約520万ha減少しており、約40億ヘクタールの森林のうち30%はすでに消失し原生株のまま残っているのはわずか15%しかないとされている
- 違法伐採や、紙の原材料や燃料用木材として利用するために過剰な伐採がされている
- バイオマス燃料の需要が高まっているにもかかわらず、使用する木材の供給が追い付いていない。

■違法伐採の状況

出典:gooddo株式会社

■世界の森林面積



出典:環境省

■原料調達のための施策

- 東京農工大学の吉田誠教授と金融・コンサルティング企業のジャパンインベストメントアドバイザーが共同で植林に取り組んでいる
- 土地の確保が難しく、バイオマス発電過程でのCO2の排出量が懸念されている

■ 早生樹資源を利用した新たな林業のあり方の構築



■バイオマス発電の仕組み



出典:環境省

出典:東京農工大学

■今後企業に求められること

- 山の管理や林業従事者など人手不足や高齢化が進み、植林や木の調査や伐採など森林の管理にコストがかかる
- バイオマス燃料となる木材が安価に確保でき、安定した供給ができることが理想だ
- カーボンオフセットの購入など、CO2排出を抑制するために企業が森林保護へ投資する必要がある

■ 新規参入林業従事者のグラフ



出典:総務省「国税調査」を元に林野庁作成

■カーボン・オフセットとは



出典:環境省

■ 参照・引用資料

- gooddo株式会社,「森林破壊の原因と対策は?身近にできることから考えよう」,2020年8月4日(https://gooddo.jp/magazine/land_biodiversity/deforestation/)
- 日本経済新聞,「バイオ燃料生産向け林業を研究 東京農工大など」,2022年1月12日 (https://www.nikkei.com/article/DGXZOOUC22CDU0S1A221C2000000/)
- gooddo株式会社,「バイオマス発電のデメリットとは?今後の改善点を解説」,2020年10月18日(https://gooddo.jp/magazine/clean_energy/biomass_power_generation/12250/)
- 林野庁, 「林業労働力の動向」,2022年3月3日参照(https://www.rinya.maff.go.jp/j/routai/koyou/01.html)
- 環境省,「カーボン・オフセット」, 2022年3月3日参照 (https://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset.html)
- 環境省,「国際的な森林保全対策」,2022年3月3日参照(https://www.env.go.jp/nature/shinrin/index_1_2.html)
- 東京農工大学,「早生樹資源の有効活用による「カーボンニュートラル社会と林業再生」実現へ」,2021年11月30日 (https://www.tuat.ac.jp/outline/disclosure/pressrelease/2021/20211130_01.html)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先: info@sfinter.com



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム 『KIZUNA ESD』を企業に提供しております。全ての従業員による サステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用 の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

サステナブルレポートとは? —

全従業員で 毎週更新中

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、 サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。